

# 鶏の改良増殖をめぐる情勢

平成 16 年 7 月

農林水産省生産局畜産部畜産振興課

# 1 養鶏生産の概要

## (1) 卵用鶏

### ① 飼養戸数、羽数

- ・飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に年率4～9%程度減少。
- ・成鶏めす羽数は、5年以降減少傾向。
- ・一戸当たり飼養規模は増加。

### ② 国内生産・輸入量

- ・生産量は、ほぼ横ばいで推移。
- ・輸入量は、全需要量の4～5%程度で推移。

## ○ 飼養戸数・羽数の推移

(単位：千戸、千羽)

	飼養戸数	採卵鶏①	計	飼養羽数			種鶏	1戸当たり成鶏めす羽数(羽)
				採卵鶏②		種鶏		
				小計	6ヶ月未満			
60年	124.1	123.1	177,477	166,710	39,114	127,596	10,767	1,037
2	87.2	86.5	187,412	176,980	40,019	136,961	10,432	1,583
7	7.9	7.3	193,854	184,364	37,734	146,630	9,490	20,059
8	7.3	6.8	190,634	181,221	35,685	145,536	9,413	21,402
9	7.0	6.5	193,037	183,765	37,613	146,152	9,272	22,382
10	5.8	5.4	191,363	182,644	37,345	145,299	8,719	26,957
11	5.5	5.1	188,892	179,781	36,633	143,148	9,111	28,234
12	5.3	4.9	187,382	178,466	38,102	140,365	8,916	28,704
13	5.2	4.7	186,202	177,396	38,148	139,248	8,713	29,502
14	4.8	4.5	181,746	177,447	39,729	137,718	4,299	30,401
15	4.5	4.3	180,213	176,049	38,750	137,299	4,164	31,636
16	-	4.1	-	174,550	37,334	137,216	-	33,549

資料：農林水産省「畜産統計」、「家畜の飼養動向」

注1：①は種鶏のみ飼養農家を、②は種鶏を除いたもの。

2：平成3年～9年は成鶏めす300羽未満の飼養者を、平成10年以降は成鶏めす1,000羽未満の飼養者を除く。

## ○ 生産量・輸入量の推移

年度	生産量		輸入量	
	実数	対前年比	総計	対前年比
	t	%	t	%
60	2,159,863	100.7	38,590	132.2
2	2,419,854	99.9	50,047	111.6
7	2,548,827	99.4	109,901	105.8
8	2,564,303	100.6	109,510	99.6
9	2,573,211	100.3	104,063	95.0
10	2,536,035	98.6	103,654	99.6
11	2,539,437	100.1	119,066	114.9
12	2,535,444	99.8	120,727	101.4
13	2,519,088	99.4	114,484	94.8
14	2,525,489	100.3	119,618	104.5
15	2,505,508	99.2	110,466	92.3

資料：生産量は農林水産省「畜産物流通統計」。輸入量は財務省「貿易統計」

(2) 肉用鶏

① 飼養戸数、羽数

- ・飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に引き続き減少。
- ・飼養(出荷)羽数は、近年減少傾向で推移してきたが、14年以降は出荷羽数が増加。
- ・一戸当たり飼養(出荷)羽数は増加。

○ 飼養戸数・羽数の推移

年度	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり飼養羽数	出荷戸数	出荷羽数	出荷生体重量	1戸当たり出荷羽数	1羽当たり出荷生体重量
	戸	千羽	羽	戸	千羽	千t	羽	kg
60年	7,025	150,215	21,383	7,878	725,223	1,750	92,057	2.41
2	5,529	150,445	27,210	5,940	708,308	1,812	119,244	2.56
7	3,853	119,682	31,062	4,328	606,494	1,631	140,133	2.69
8	3,607	118,134	32,751	4,118	599,473	1,610	145,574	2.69
9	3,516	114,314	32,513	3,982	589,311	1,602	147,994	2.72
10	3,367	111,659	33,163	3,768	571,727	1,553	151,732	2.72
11	3,192	107,358	33,633	3,655	571,485	1,561	156,357	2.73
12	3,082	108,410	35,175	3,502	569,234	1,550	162,545	2.72
13	2,986	106,311	35,603	3,385	567,876	1,555	167,762	2.74
14	2,900	105,638	36,427	3,365	586,045	1,615	174,159	2.76
15	2,839	103,729	36,537	3,323	595,280	1,645	179,139	2.76
16	2,778	104,950	37,779					

資料：農林水産省「食鳥処理場調査結果」

注：飼養戸数、飼養羽数は各年2月1日現在。

② 国内生産・輸入量

- ・生産量は、減少傾向で推移してきたが、13年度以降は増加傾向で推移。
- ・輸入量は、増加傾向で推移してきたが、14年度以降は中国・米国・タイからの輸入一時停止措置や国内産志向の高まり等により大幅に減少。

○ 生産量・輸入量の推移

年度	生産量		輸入量 (実量ベース)					
	実数	対前年比	総計	対前年比	米国	タイ	中国	ブラジル
	t	%	t	%	t	t	t	t
60	1,351,208	102.0	110,240	102.3	48,790	42,268	3,546	13,011
2	1,380,050	97.4	286,724	100.2	99,184	111,087	27,197	36,574
7	1,251,658	99.7	528,560	110.7	126,313	108,597	192,254	97,144
8	1,235,816	98.7	551,698	104.4	123,138	94,460	217,107	113,346
9	1,233,969	99.9	497,918	90.3	102,769	96,160	201,462	94,236
10	1,211,772	98.2	509,907	102.4	103,997	122,591	208,290	70,070
11	1,212,559	100.1	552,896	108.4	96,210	130,295	218,466	105,317
12	1,194,524	98.5	555,300	100.4	85,029	125,174	235,158	108,045
13	1,216,416	101.8	556,472	100.2	72,410	175,766	163,033	141,714
14	1,229,089	101.0	495,354	89.0	49,570	166,971	121,532	153,241
15	1,238,888	100.8	430,329	86.9	41,095	146,198	43,550	193,955

資料：生産量は生産局推計。輸入量は財務省「日本貿易月表」。

注：鶏肉輸入量は調整品を除く

## 2 改良・増殖体制

### (1) 改良事業等の変遷

- ・昭和30年代以降、外国ひなの輸入自由化による外国銘柄鶏の進出を背景として、集団遺伝学による系統造成等による実用鶏の作出、増殖及び普及を開始。
- ・平成元年代以降、消費者ニーズの多様化に対応し、高品質鶏として利用される地鶏等の改良を開始。

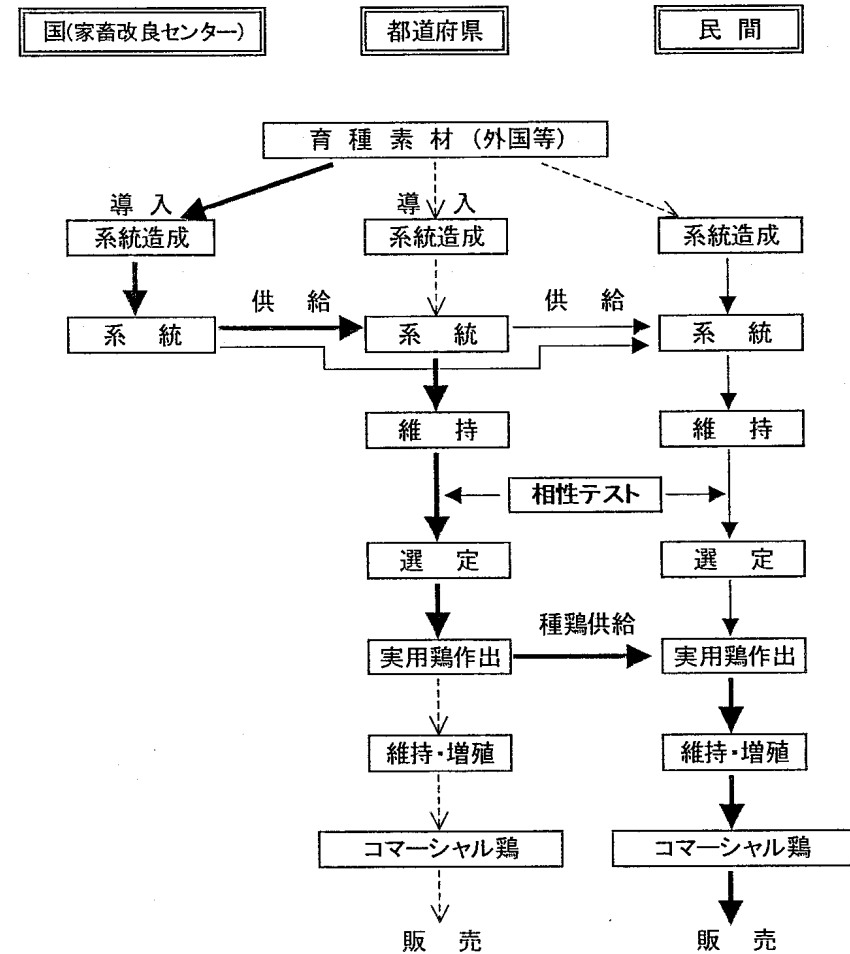
### (参考) 飼養管理技術等の変遷

- ・昭和30年代：ケージ飼育の普及、配合飼料の利用が進展  
ブロイラー専用種の普及による若鶏肉生産の拡大
- ・昭和40年代：各種疾病ワクチン、ウインドレス鶏舎の普及
- ・平成元年代：地鶏の交配利用、飼養管理方法等に工夫を凝らした高品質鶏肉生産の取組が活発化
- ・平成10年代：鶏卵についても飼養管理方法等に工夫を凝らした銘柄化の取組が活発化

### (2) 改良・増殖体制

- ・実用(コマーシャル)鶏は、産卵能力や産肉能力に優れた純粋種(系統)を、3元又は4元交配して作出。
- ・このため、国、家畜改良センター、都道府県、民間が密接な連携を図りつつ、鶏の改良を推進。

## ○我が国の改良体制



### 3 改良の効果

#### (1) 卵用鶏の能力

- 我が国の卵用鶏の産卵率、飼料要求率等の能力は着実に向上。卵重については概ね横ばいで推移。

#### ○卵用鶏の能力の推移

(単位：%、g、日)

年次	産卵率	300日齢 卵重量	日産卵量	50% 産卵日齢	飼料要求率
平成元年	79.4	62.5	49.6	151	2.22
5	79.8	62.3	49.7	152	2.24
6	80.5	61.9	49.8	149	2.26
7	82.0	62.5	51.3	149	2.25
8	82.0	62.7	51.4	153	2.23
9	82.4	62.1	51.2	146	2.20
10	83.0	62.2	51.6	145	2.18
11	82.9	62.9	52.1	146	2.19
12	83.1	62.8	52.2	141	2.17
13	82.9	63.4	52.6	149	2.17
14	83.5	63.0	52.6	147	2.15

資料：畜産振興課調べ

$$\text{注：産卵率} = \frac{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の産卵個数}}{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の生存延べ羽数}} \times 100$$

$$\text{飼料要求率} = \frac{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の飼料消費量}}{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の産卵重量}}$$

#### (2) 肉用鶏の能力

- 我が国のブロイラーの体重、飼料要求率等は着実に向上してきたが、近年、横ばいで推移。

#### ○肉用鶏の能力の推移

(単位：kg、%)

年次	体重	育成率	飼料要求率
平成元年	2.52	94.0	1.95
5	2.53	86.9	2.03
6	2.75	92.1	1.91
7	2.60	94.0	1.82
8	2.50	94.6	1.98
9	2.62	96.3	1.92
10	2.65	97.6	1.87
11	2.71	98.5	1.88
12	2.68	98.9	1.92
13	2.67	98.0	1.93
14	2.64	98.4	1.90

資料：畜産振興課調べ

注：体重は、49日齢時点における雌雄平均値

$$\text{育成率} = \frac{\text{鶏群の49日齢時点の羽数}}{\text{鶏群の餌付け羽数}} \times 100$$

$$\text{飼料要求率} = \frac{\text{餌付けから49日齢時点までの飼料消費量}}{\text{鶏群の49日齢時点の体重}}$$

#### 4 鶏改良の課題

##### (1) 国産鶏の普及状況

- ・ 国産鶏の普及は、わが国の消費者ニーズ及び気候風土に合った鶏の作出とともに、海外悪性伝染病の発生等による海外からの外国鶏種鶏の輸入停止への対応等、国内の遺伝資源の確保を図る観点から極めて重要。
- ・ 国産鶏は、能力的に外国鶏とそれほど遜色ない水準であるものの、斉一性に問題があるとみられること、ひなの供給体制及び技術、経営指導等の支援体制が弱いこと等から、その普及率は低水準。

〔ここでの「国産鶏」とは日本国内で改良された鶏由来の鶏をいい、「外国鶏」とは海外で改良された鶏由来の鶏をいう。〕

##### (2) 実用鶏の作出状況

- ・ 我が国の実用鶏は、都道府県や民間により、家畜改良センターが造成した育種素材や在来種等を活用し作出。
- ・ 卵用鶏としては、県及び民間において実用鶏を作出、普及。
- ・ 肉用鶏としては、県等において在来種等を活用した県独自の銘柄を作出するほか、家畜改良センター兵庫牧場より高品質ブロイラーの原種鶏・種鶏の提供を受け民間で実用鶏の増殖普及を実施中。

#### ○国産鶏のひな出荷羽数の推移

(千羽、%)

		ひな出荷羽数	うち国産鶏
卵用鶏	平成9年	93,467	7,007 (7.5)
	平成13年	118,628	8,036 (6.8)
肉用鶏	平成9年	565,069	2,383 (0.4)
	平成13年	560,835	3,873 (0.7)

資料：(社)中央畜産会「家畜改良関係資料」基礎データより推計

注：カッコ内はシェア

#### ○実用鶏の作出状況

		都道府県	民間
卵用鶏	都道府県	北海道 福島県 愛知県 等7都道府県	滝川スーパーZP 福島クロスPブラウン 愛知ライン
	民間	(株)後藤孵卵場 " (株)小松種鶏場	ゴトウさくら ゴトウもみじ ダイヤクロス
肉用鶏	都道府県	秋田県 愛知県 岐阜県 徳島県 等33都道府県	比内地鶏 名古屋コーチン 奥美濃古地鶏 阿波尾鶏
	民間	(株)イシイ	はりま

資料：農林水産省生産局畜産部調べ

(3) 地鶏等の普及

① 地鶏等の生産状況

近年の消費者ニーズの多様化等に対応して、地鶏等、高付加価値鶏肉の出荷量は年々着実に増加。

② 各地での地鶏等作出への取り組み

各地で地鶏等を活用した高品質肉用鶏を作出。

また、平成11年に地鶏肉の特定JAS規格が設定され、平成16年3月までに、9の登録認定機関により13銘柄が認定を受けている。

○「その他肉用鶏」の出荷量の推移

(単位：千羽、トン、%)

	出荷羽数	出荷重量	対前年比
平成5年	3,866	10,776	—
9	7,780	22,916	110
10	7,872	23,765	104
11	7,799	23,304	98
12	8,044	23,858	102
13	8,196	24,820	104
14	9,162	27,679	112
15	9,320	28,316	102

資料：農林水産省「畜産物流通統計」「食鳥処理場調査結果の概要」

注：「その他肉用鶏」とは、ふ化後3カ月以上で出荷された鶏をいう。

○地鶏特定JAS認定銘柄

県名	銘柄名	交配用式(♂×♀)
秋田	比内地鶏	比内鶏×白色ロック
茨城	筑波地鶏	白色コーニッシュ×(比内鶏×ロート <sup>°</sup> )
	やさとしゃも	シャモ×((はりま×土佐九斤)×(白色コーニッシュ×白色ロック))
岐阜	奥美濃古地鶏	岐阜地鶏×(白色ロック×ロート <sup>°</sup> )
和歌山	紀州鶏	シャモ×白色ロック
京都	京黒どり 丹波黒どり	(ロート <sup>°</sup> ×黒色コーニッシュ)×(ロート <sup>°</sup> ×ニューハンプ <sup>°</sup> )
兵庫	播州地どり	兵庫(薩摩×名古屋)×白色ロック
岡山	おかやま地どり	白色ロック×(ロート <sup>°</sup> ×横鹿ロック)
鳥取	鳥取地どりピヨ	(シャモ×ロート <sup>°</sup> )×白色ロック
徳島	阿波尾鶏	阿波地鶏(軍鶏)×白色ロック
福岡	はかた地どり	シャモ×白色ロック
熊本	熊本コーチン	熊本コーチン×熊本ロート <sup>°</sup>

資料：畜産振興課調べ